

(独) 森林総合研究所
森林農地整備センター
札幌水源林整備事務所

日本大学夏季演習林実習で水源林造成事業について講演



北海道二海郡八雲町にある日本大学八雲演習林において、同大学森林資源科学科新入生を対象とする夏季演習林実習（平成26年8月25日～28日）が実施されました。この実習は地域の専門家を講師として、亜寒帯林の森林の生態と管理に関する理論と実践を学ぶものであり、札幌水源林整備事務所職員も講師として実習の一部に参加しました。



当演習林は、かつて荒廃が著しく何度か河川が氾濫しました。昭和41年に演習林のうち約9割が保安林に指定され、昭和45年に当センターの前身である当時の森林開発公団、森林組合と3者契約による水源林造成事業が開始されました。これにより、現在では豊かな森林となっており、近年では搬出間伐も実行しています。



実習において、当事務所からは、水源林造成事業の説明をするとともに、職員自らの経験に基づいた、人と森林、水との関わりについて講演しました。これから大学で専門的に学ぶ新入生47名の皆様に初めての経験として、熱心に受講していただきました。